

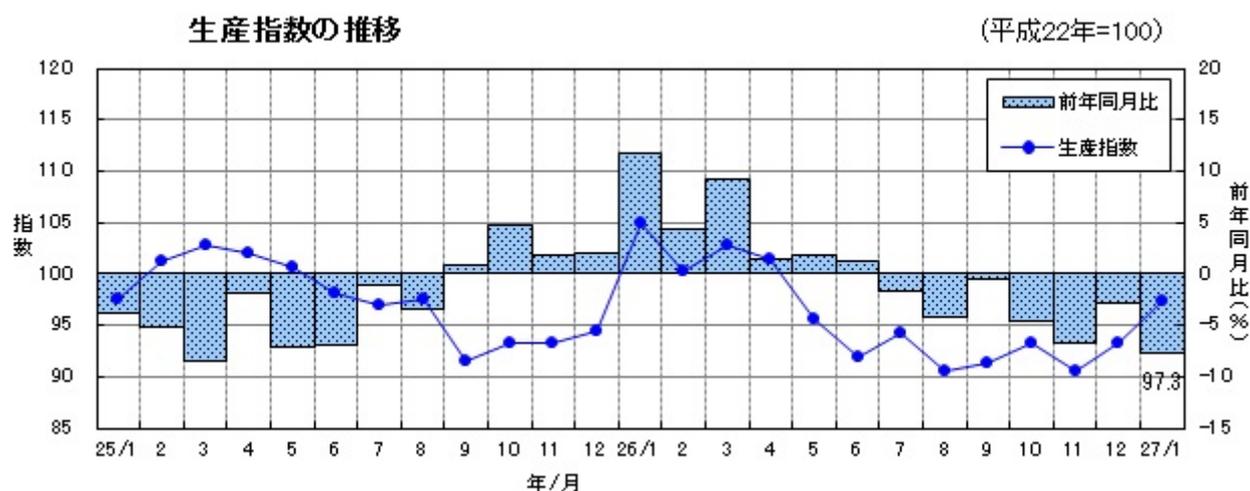
生産増・在庫減の動きが継続、26年生産指数は前年比0.6%増 (静岡県鉱工業指数 平成27年1月分速報・平成26年速報)

1 生産指数の動き

平成27年1月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**97.3**となり、**前月比は4.4%増と2か月連続して上昇した。**

また、**前年同月比（原指数）は7.7%減と7か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、食料品・たばこ、輸送機械、電気機械等が上昇する一方、情報通信機械、化学、非鉄金属等が低下した。

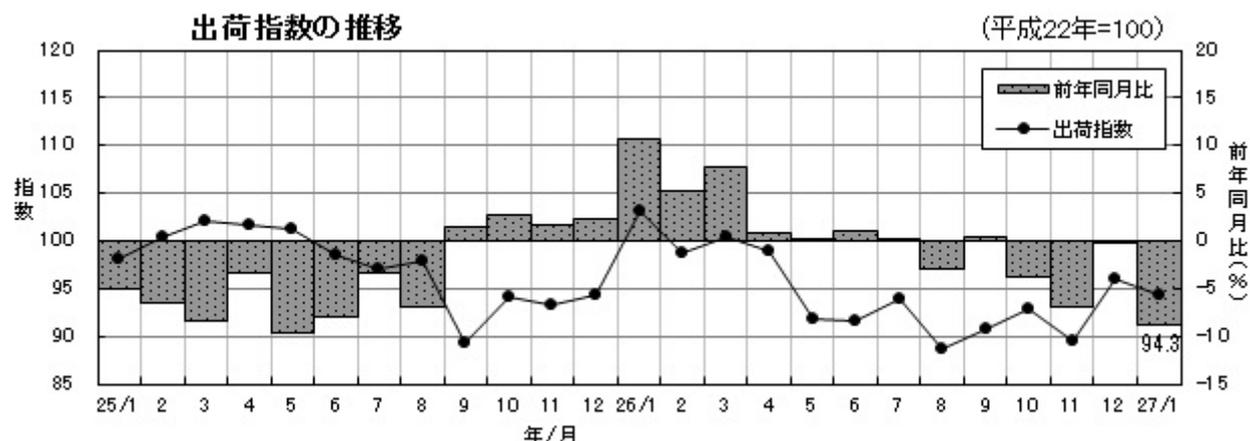


2 出荷指数の動き

平成27年1月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**94.3**となり、**前月比は1.7%減と2か月ぶりに低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は8.8%減と4か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、プラスチック製品、その他製品等が上昇する一方、輸送機械、化学、食料品・たばこ等が低下した。

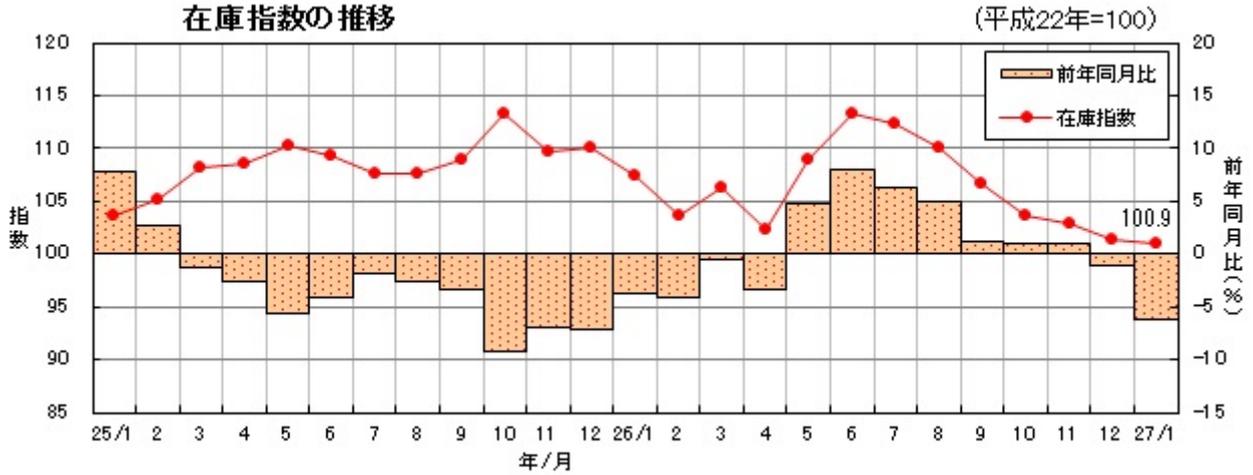


3 在庫指数の動き

平成27年1月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**100.9**となり、前月比は**0.4%減**と7か月連続して低下した。

また、前年同月比（原指数）は**6.2%減**と2か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、食料品・たばこ、輸送機械、プラスチック製品等が上昇する一方、はん用・生産用・業務用機械、その他製品、非鉄金属等が低下した。



4 平成26年指数速報

今回で平成26年12月分の修正値まで出揃ったことから、平成26年指数（速報）を平成25年確報値とともに年次推移としてまとめた。

平成26年指数（原指数：平成22年=100）は、**生産指数 95.5**（前年比0.6%増）、**出荷指数 94.4**（0.9%増）、**在庫指数 106.6**（1.2%増）となった。

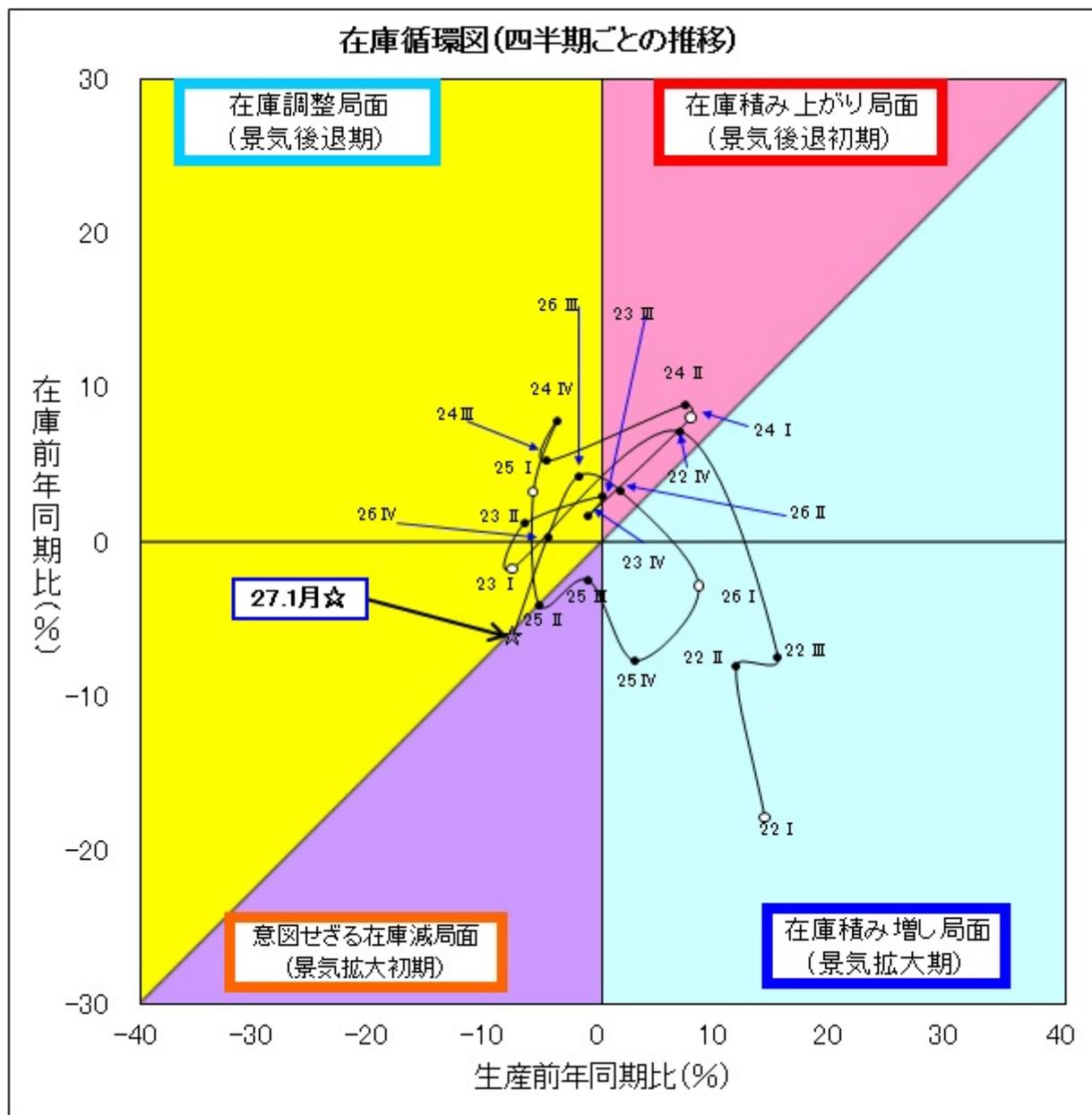
鉱工業指数の年次推移

(原指数:平成22年=100)

	生産		出荷		在庫	
	静岡県	全国	静岡県	全国	静岡県	全国
22年	100.0 (11.7)	100.0 (15.6)	100.0 (11.0)	100.0 (15.5)	100.0 (Δ7.3)	100.0 (Δ5.7)
23年	96.1 (Δ3.9)	97.2 (Δ2.8)	95.7 (Δ4.3)	96.3 (Δ3.7)	101.0 (1.0)	105.0 (5.0)
24年	97.4 (1.4)	97.8 (0.6)	97.2 (1.6)	97.5 (1.2)	108.5 (7.4)	110.5 (5.2)
25年	94.9 (Δ2.6)	97.0 (Δ0.8)	93.6 (Δ3.7)	96.9 (Δ0.6)	105.3 (Δ2.9)	105.7 (Δ4.3)
26年	95.5 (0.6)	98.9 (2.0)	94.4 (0.9)	98.4 (1.5)	106.6 (1.2)	111.9 (5.9)

下段()内は前年比(%)

<参考1> 在庫循環図



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ☆ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期) ← 今季はここに該当**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。